

# やまぐちっ子学力向上だより

第141号 R5.12.14

山口県教育庁義務教育課

## 特集

### 授業力向上実践研究

本号は、授業力向上実践研究指定校の取組と成果をお届けします！

授業力向上実践研究事業は、全校体制での組織的な授業力の向上を目的として進めている県の事業です。義務教育課では、県内7校の指定校に対して、以下のような支援をしています。

#### 1 授業づくりについての指導助言

義務教育課及び市町教育委員会の指導主事が、校内研修での指導助言や授業提供、指導案作成のサポート等を行っています。学校の研究テーマや子どもの実態に応じた支援をすることで、指定校の先生方が前向きに自信をもって研究を進めてくださっています。



#### 2 指定校情報交換会及びICTミニ研修の実施

各指定校の効果的な取組について情報交換するために、研修主任を対象とした定期的な情報交換会を行っています。研究内容や体制づくりについて学ぶことが多く、実際に他の指定校に視察に行かれる学校もありました。

また、講師を招いたICTミニ研修も実施しています。今年度は、文部科学省の学校DX戦略アドバイザー事業を活用し、鹿児島県始良市立帖佐中学校 辻 慎一郎 校長先生に御講演をいただきました。



### 授業力向上実践研究指定校の取組と成果④

#### ICTの活用で授業力向上・人材育成～光市立三輪小学校～

「確かな学力を身につける子どもの育成～学び合いを核とした授業づくり～」を研修主題に掲げ、研修を進めてきました。三輪小学校の研修における特徴は次の2点です。

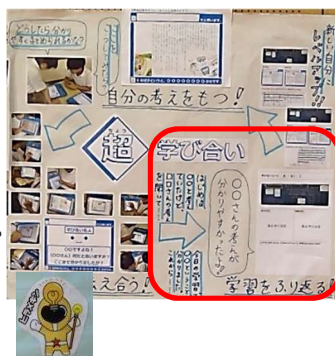
#### 1 授業力向上



学び合い活動を資質・能力の育成につなげるために「振り返り」に着目したこと。

学習を振り返る場の設定から、振り返りの視点の設定、振り返り活動を充実させる学び合い活動の在り方へと研修を推進しています。

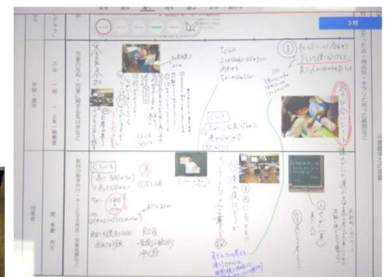
また、子どもが振り返りのよさを感じ、楽しんで行うことができるように、キャラクターを発案し、全てのクラスで活用しています。  
※紙面に散りばめている7色のキャラクターです。



#### 2 人材育成

クラウドサービス (MetaMoJi) を活用した校内研修を実施していること。

公開授業では、授業記録を共同編集し、研究協議もクラウドサービスを用いて行いました。授業者から指導技術を学び、先輩教員から参観の視点を学ぶ研修体制が整っています。



## 授業力向上実践研究指定校の取組と成果⑤

### キャリア教育を軸とした授業力向上～岩国市立灘中学校～

岩国市立灘中学校では、「キャリア教育を通して育む基礎的・汎用的能力を、日々の授業においても育成する」ことを意識して授業づくりを行っています。

#### ＜研修主任 吉田教諭にインタビュー！＞

**Q：実践研究の成果と課題を教えてください。**

**成果**：「学ぶ意義」を意識した授業づくりに取り組んだ結果、振り返りにおいて、授業で学んだことが社会とどのように関係しているのか、他教科とどのようにつながっているのかなど、具体的に記述することができるようになりました。また、課題解決に向けて、活発に議論し合う姿が見られるようになりました。

**課題**：身に付けさせたい資質・能力に応じた最適な学び方など、生徒にとって有効な学びについて考える必要があると思っています。資質・能力を確実に身に付けさせる学びの方法やアプローチの仕方について研修を進め、よりよい授業をめざしていきたいと思います。

「最適な学び方」を身に付けさせるためには、生徒自身に学ぶことへの興味をもたせ、主体的に学びに向かう場面設定を意図的に仕組むことが必要です。公開授業で数学科の指導助言を行った義務教育課・中野主査は「日常生活に即した題材で、生徒は興味をもちながら課題解決に取り組んでいました。数学科の学びを生かしながら課題を解決することを通して、学ぶ意欲や学ぶことの価値を見出せるような授業実践に今後も取り組んでいただきたい。」と述べています。



## 授業力向上実践研究指定校の取組と成果⑥

### 研修の充実と教職員の人材育成～萩市立椿東小学校～

萩市立椿東小学校では、「各教科等の『見方・考え方』に着目して研究を進めていくことで、主体的・対話的で深い学びの実現につながり、自ら学ぶ楽しさを実感しさらに学びに向かう児童の姿が見られるのではないか」と考え、授業研究・授業改善に取り組んでいます。次の3点は、具体的な取組です。

- ①見方・考え方を働かせるための支援とその成果の共有  
⇒ブロック研修での互見授業、教頭による授業参観とミニ研修
- ②「椿東小学校スタンダード」の作成（授業づくりにおいて意識するとよいこと）  
⇒全校体制での取組の推進による「学び合う集団」としての素地づくり
- ③「学びを実感できる、引き出したい振り返り」の想定  
⇒日々の授業改善、めあて・発問・学習活動・支援・評価の連動



【低学年ブロックによる模擬授業の様子】

これらの取組を通して、子どもに着実に力が付いてきています。また、研修主任がリーダーシップを発揮して見方・考え方を働かせる授業のよさを全体で共通理解したり、ベテラン教員を核とした隣学年のブロック研修体制を構築したりすることで、教職員の人材育成にも成果が見られました。研究大会では、各教科等の見方・考え方を働かせながら主体的に学習に向かう子どもの姿が見られたことから、教職員も参加者も研修の充実を感じることができました。